

イルミン感不思議

都農町
健康所（佐土原町）の
健衛生所



イノシシの死体を掘り起こす家畜保健衛生所職員

都農町

口蹄疫が広がっている
児湯郡地区で、弱った野
牛の死体を見つかった。
その後、イノシシは死んで
しまった。その後、イノシ
シは死んでしまった。それ
からその場に埋められた。

関係者によると、五月
二日、都農町轄（こどろ）
地区で地元住民が、深さ
四十五センチの水路で動け
なくなっているオスのイノ
シシを発見、都農町役場
に連絡した。

イノシシは体長五十セン
チで、三歳四歳のものと
後、イノシシは死んでしま
た。同日の夜、宮崎家畜保
健衛生所（佐土原町）の

安農業の罪はまず、感
染を報告しなかつた点。
都農町の第一例発表（四
月二十一日）よりも二週
間ほど前、既に感染を疑
うような事実があった。
上層部もそれを認識して
いた。

その後、放置した結果、
一頭が死亡するが、こ
とも安農業牧場は二つ目
の罪を犯す。死体を西都
市の牧場に移した。勝手
に移動したのだ。更に、
業者に引き取らせ、処分
したことによる禁止事項の一
つに該当する。

家畜伝染病予防法

複数の違反行為

1面からのつづき

これ以上に重大なのが、
口蹄疫感染の疑いのある
牛を出荷した点だ。

移動したのは四月十八日頃
の十日後の四月二十八日、
えびの市の案農業牧

場の預託農家から感染牛
が出た。牛の潜伏期（六
日～七日）から計算して
ほぼ一致する。

えびの市で感染牛が発
見された当時、えびの市

は搬出制限の区域外にあ
つた。感染理由として農
林水産省も「移動規制を
敷く以前に牛の移動があ
つたのが原因では」と漏
らしている。

児湯坂大の張本人

1面からのつづき

発症事実

報告しない感染牛 勝手に移動
えびの市まで飛び火

口蹄疫が広がっている
児湯郡地区で、弱った野
牛の死体を見つかった。
その後、イノシシは死んで
しまった。その後、イノシ
シは死んでしまった。それ
からその場に埋められた。

ところで、今回の口蹄
疫の発症は十年ぶり。二
日、宮崎市内で口蹄疫の
発症から約二ヶ月後

〇〇〇〇年の時は三月十二
日、宮崎市内で口蹄疫の
発症から約二ヶ月後

職員らが現場を訪れ、口
蹄疫の有無を視診し、
の判断からその場に埋
められた。

ところが、イノシシの
異常を知った住民が、な
ぜ、調査しなかった。口
蹄疫に感染していたたら
大事だ」と掘り起して

口蹄疫の猛威が収まる兆
ではない。県民の誰もが、
不安を抱えているのでは
ない。県民の誰もが、

口蹄疫の猛威が収まる兆
ではない。県民の誰もが、
不安を抱えているのでは
ない。県民の誰もが、

口蹄疫に感染していたたら
大事だ」と掘り起して

口蹄疫に感染していたたら
大事だ」と掘り起して